

マーケットの動き（2024年10月14日～10月18日）

先週の米国国債市場は、前週末比で金利はほぼ横ばいでした。週前半は原油先物相場の上昇一服や9月英CPI（消費者物価指数）が市場予想を下回ったことなどを受け、債券は買われ金利は低下しました。17日発表の米9月小売売上高が市場予想を上回ると米経済の底堅さが示され、債券は売りが優勢となり、ほぼ横ばいで週を終えました。

欧州国債市場は、前週末比で金利は低下しました（債券価格は上昇）。

投資環境見通し（2024年10月）

長期金利は、米国ではさらなる低下は限定的、欧州（ドイツ）では緩やかに低下

米国：FRB（米国連邦準備制度理事会）の大幅利下げを受けて緩やかな景気減速にとどまるとの見方が広がる中、長期金利は今後の追加利下げを相当程度織り込んだとみられることから、さらなる低下の動きは限定的とみています。

欧州：ECB（欧州中央銀行）による今後の利下げペースはFRBと比較して緩やかとみられますが、ドイツ景気の先行きに対する不透明感も残ることから、ドイツ長期金利は緩やかに低下するとみています。

	10月18日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	4.08	▲0.00	0.37	▲0.56	▲0.82
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース(騰落率)	601.28	0.34%	3.52%	2.32%	11.39%

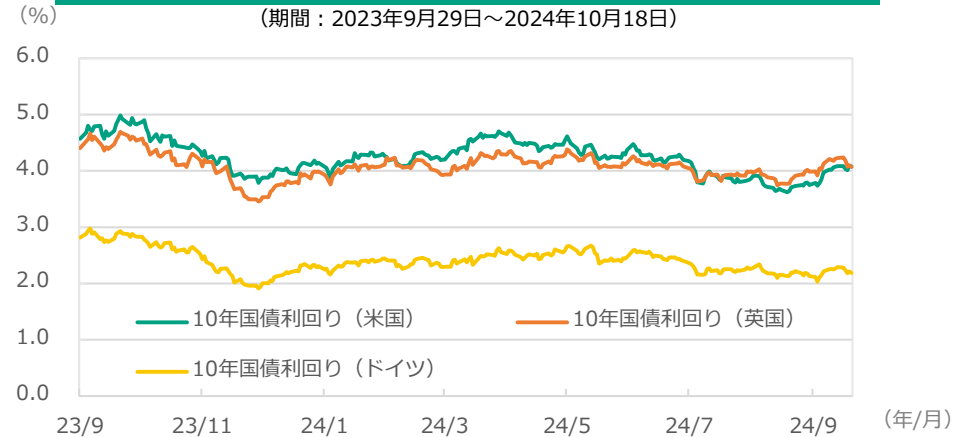
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202410_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

主要国国債利回りの推移



FTSE世界国債インデックスの推移



※2023年9月29日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成